

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年7月31日

上場会社名 セブン工業株式会社 上場取引所 東 名

コード番号 7896 URL https://www.seven-gr.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木下 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 田口 浩司 TEL 0574-28-7800

配当支払開始予定日 – 決算補足説明資料作成の有無:無 決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1)経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3, 850	3. 9	0	△98. 2	5	△72.6	△7	-
2025年3月期第1四半期	3, 707	△4.0	10	_	20	_	12	_

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△1. 78	_
2025年3月期第1四半期	2. 78	_

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10, 892	6, 261	57. 5
2025年3月期	10, 942	6, 313	57. 7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,261百万円 2025年3月期 6,313百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭				
2025年3月期	_	10.00	_	10.00	20. 00				
2026年3月期	_								
2026年3月期(予想)		10.00	ı	10. 00	20.00				

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	划益	経常和			1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7, 900	3. 2	52	3. 3	50	△13.1	30	△28.9	6. 72
通期	16, 100	4. 4	110	△40.1	100	△47.1	70	△62.2	15. 68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更: 無③ 会計上の見積りの変更: 無④ 修正再表示: 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	4, 673, 250株	2025年3月期	4, 673, 250株
2026年3月期1Q	209, 564株	2025年3月期	209, 564株
2026年3月期1Q	4, 463, 686株	2025年3月期1Q	4, 463, 942株

- ※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経常	営成績等の概況	2
	(1)	当四半期の経営成績の概況	2
	(2)	当四半期の財政状態の概況	2
	(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期財務諸表及び主な注記	3
		四半期貸借対照表	3
	(2)	四半期損益計算書	4
	(3)	四半期財務諸表に関する注記事項	5
		(継続企業の前提に関する注記)	5
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
		(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
		(セグメント情報等の注記)	5
		(重要な後発事象)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、賃上げ政策が徐々に広がりを見せるものの、物価上昇による実質所得の低下や更なる物価上昇への警戒感から力強さに欠ける経済環境下で推移いたしました。また世界情勢においても、米国による相互関税の発動により世界経済への下押し圧力がかかるなか、ウクライナや中東情勢など地政学リスクも引き続き影を落としており、極めて不透明な状況が続いております。

当社が属する住宅業界におきましても、長期金利の引き上げや住宅価格の値上がりを背景とした消費マインドの減退等により住宅着工戸数は低水準で推移するなか、需要の低迷により価格競争の激化が伸展するなど、厳しい事業環境となりました。

こうした環境下、当社においては成長戦略に掲げる非住宅分野への事業領域の拡大や省施工商品の充実化に向けた施策を推進しており、当事業年度のスローガン「Create New7〈2.0〉」のもと、これまで推し進めてきた変革の取り組みを新たな事業創造へと具現化すべく、「当社ならでは」の差別化の推進、提案力の強化に努めるとともに、かかる設備投資を行ってまいりました。

内装建材事業においては、前事業年度に数年ぶりの黒字転換を達成し、この数年取り組んできた収益性向上策や 非住宅分野への事業拡大にかかる施策が奏功した結果と捉えており、厳しい事業環境下でも収支改善の動きが顕在 化しています。今後も販売価格の適正化や原価低減、生産性向上に努めるとともに、大手建材メーカーとの階段製 造に関する協業や、カウンター製造設備への投資などを推進し、主力商品の更なる安定化と将来に向けた布石を着 実に講じてまいります。

木構造事業においては、資材価格の高騰や業界内での価格競争の激化に拍車が掛かるなど、想定以上の事業環境の悪化を背景に厳しい業績となりました。一方、9月には大型の設備投資である、新プレカットラインの設備導入が完了するとともに当該設備投資に伴う工場建屋の拡張及び新倉庫が完成し、この数年準備を進めてきた製造、物流機能の一連の大型投資が完了することで、年度後半からの攻勢に向け、新設住宅のみならずこれまで以上に非住宅市場を意識した営業活動を展開し、受注拡大に資する取り組みを推し進めてまいります。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、38億50百万円と前年同四半期と比較し1億43百万円 (3.9%) の増収となりました。利益面では営業利益は0百万円と前年同四半期と比較し10百万円 (△98.2%) の減益、経常利益は5百万円と前年同四半期と比較し14百万円 (△72.6%) の減益、四半期純損失は7百万円 (前年同四半期は四半期純利益12百万円) となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産につきましては、108億92百万円となり、前事業年度末と比べ49百万円 ($\triangle 0.5$ %) の減少となりました。これは主に売上債権等の減少によるものであります。

負債につきましては、46億31百万円となり、前事業年度末と比べ2百万円 (0.1%) の増加となりました。これは 主に賞与引当金及び長期借入金等の減少があったものの、未払金等の増加によるものであります。

純資産につきましては、62億61百万円となり、前事業年度末と比べ52百万円($\triangle 0.8%$)の減少となりました。 これは主に期末配当の実施によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末と比べ0.2ポイント減少の57.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年4月30日に公表しました予想からは変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度	当第1四半期会計期間
資産の部	(2025年3月31日)	(2025年6月30日)
意度の記 流動資産		
現金及び預金	1, 197	1, 15
受取手形、売掛金及び契約資産	3, 021	2, 939
文以ナル、元街金及い矢利貢座 電子記録債権		
	1, 029	990
商品及び製品	220	210
仕掛品	397	410
原材料及び貯蔵品	741	789
その他	178	12:
貸倒引当金		
流動資産合計	6, 782	6, 625
固定資產		
有形固定資産		
建物(純額)	532	532
土地	2,659	2,659
その他(純額)	656	73′
有形固定資産合計	3, 848	3, 930
無形固定資産	60	7:
投資その他の資産		
前払年金費用	140	159
その他	110	105
投資その他の資産合計	251	264
固定資産合計	4, 159	4, 266
資産合計	10, 942	10, 892
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 075	1, 076
電子記録債務	863	848
1年内返済予定の長期借入金	365	353
未払法人税等	41	14
賞与引当金	160	80
その他	509	733
流動負債合計	3, 016	3, 102
固定負債		
長期借入金	1, 345	1, 260
役員退職慰労引当金	70	72
資産除去債務	3	
その他	193	193
固定負債合計	1,612	1, 528
負債合計	4, 628	
	4, 028	4, 63
純資産の部		
株主資本	0.450	0.45
資本金	2, 473	2, 473
資本剰余金	2, 675	2, 675
利益剰余金	1, 408	1, 35
自己株式	△244	△24
株主資本合計	6, 312	6, 259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	
	1	j
計圖•揆昇定領守宣訂		
評価・換算差額等合計 純資産合計	6, 313	6, 261

(2) 四半期損益計算書

(2)四十規俱益訂昇音		(単位:百万円)
	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3, 707	3,850
売上原価	3, 176	3, 300
売上総利益	531	550
販売費及び一般管理費	520	550
営業利益	10	(
営業外収益		
受取配当金	7	6
受取手数料	0	(
資材売却益	0	(
その他	3	
営業外収益合計	11	9
営業外費用		
支払利息	2	:
その他		
営業外費用合計	2	:
経常利益	20	
特別損失		
固定資産廃棄売却損	0	;
特別損失合計	0	;
税引前四半期純利益	20	
法人税、住民税及び事業税	3	
法人税等調整額	3	į
法人税等合計	7	(
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12	\triangle

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) 当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

減価償却費 30百万円 38百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	幸	告セグメン	F	その他		調整額	四半期 損益計算書
	内 装 建材事業	木構造事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	1, 968	1, 735	3, 704	3	3, 707	_	3, 707
セグメント間の内部売上高又は振 替高	0	1	1	-	1	△1	_
計	1, 969	1, 736	3, 706	3	3, 709	$\triangle 1$	3, 707
セグメント利益又は損失(△)	△50	59	9	1	10	_	10

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は、賃貸事業であります。
 - 2. 売上高の調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 - 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。
- Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報	告セグメン	セグメント			調整額	四半期 損益計算書
	内 装 建材事業	木構造事業	<u>=</u>	その他 (注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	2, 126	1,720	3, 847	3	3, 850	_	3, 850
セグメント間の内部売上高又は振 替高	_	1	1	١	1	△1	_
11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	2, 126	1, 722	3, 848	3	3, 852	△1	3, 850
セグメント利益又は損失(△)	16	△17	△1	1	0	_	0

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は、賃貸事業であります。
 - 2. 売上高の調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 - 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。